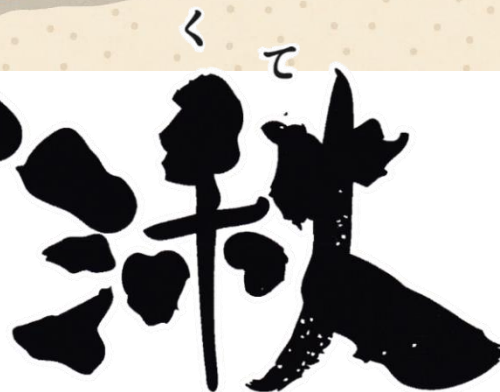


令和4年7月  
第432号



6/19ホタルを見よう（神田鴻ノ巣）



## 『長寿会 花の苗植え』

ありがとうございます。  
花があると癒されます。

### おもな内容

- ・地区担当支援職員のご紹介・・・p1
- ・西森川邸オープニングセレモニー p2
- ・ワークショップ『味噌づくり』・・・p3～4
- ・転入対策視察報告・・・p5
- ・『特殊詐欺防止講話』・・・p6

## 令和4年度 夢づくり地域活動支援室 地域担当支援職員のご紹介

地区支援総括・・・小木曾 達也（浄化センター） 1年目

まちづくり支援総括・・・伊藤 允一（市民協働課） 2年目

まちづくり支援職員・・・本田 満久（都市計画課） 2年目

### 小木曾 達也(浄化センター)

皆さんはじめまして。4月より大湫地区の地区支援総括、区長会支援総括に任命されました、小木曾達也（こぎそたつや）と申します。恵那市明智町に在住しており、車で30分ほどかけて通勤しています。

現在は浄化センターの職員として浄化センターや大湫クリーンセンター、市内3か所のポンプ場の維持管理などを行っています。大湫町の皆様には大湫クリーンセンターについてお世話になることもあるかと思しますので、ご協力をお願いいたします。

皆様と一緒に大湫町を盛り立てていけるようお手伝いしていきたいと思しますので、今後ともよろしくをお願いいたします。

### 6/12 神明神社の鳥居が3年ぶりに設置されました。



3年ぶりの鳥居。やっぱり神社には鳥居が似合いますね  
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

## 西森川邸オープニングセレモニー・お披露目会のお知らせ

西森川邸は2017年から清掃活動をはじめ、多くのボランティアの方に支えられながら復活に向けて進んできました。クラウドファンディングでは、120名の方にご支援いただき、昨年、改修や一部取り壊しなどを行いました。来る7月23日（土）10時～12時にオープニングセレモニーとお披露目会を行います。参加申し込みは不要ですので、ぜひ生まれ変わった西森川邸を見に来ていただくと嬉しいです。

<<オーナー森川さんより>>

西森川邸は、個人の方ではどうにもできず、空き家の状態のままになってしまっていました。今回、大湫町の町民の方をはじめ、多くのボランティアの方々の力を借りながら復活に向けて動き出していることを嬉しく思います。いまは大湫町から離れて暮らしていますが、先祖代々受け継いできた歴史ある建物を町の魅力につながるような場として有効活用してもらいたいと思っています。

### ■西森川邸オープニングセレモニー・お披露目会

#### 日時

7月23日（土）10時～12時（雨天決行）

#### 場所

西森川邸 新座敷

#### タイムテーブル

10時～10時10分 : ご挨拶  
10時10分～10時50分 : これまでの歩みのご紹介  
10時50分～11時30分 : これからの活用について  
11時30分～ : 内覧会（自由に見学いただけます）  
12時 : 終了

#### そのほか

- ・参加の申し込みは必要ありませんのでお気軽にお越しください。
- ・事前の検温とマスク着用をお願いいたします。
- ・体調がすぐれない場合は参加をお控えください。

今後は、西森川邸の良さを活かしながら、町のためになるような活動をしてくださる方に住んでもらえるよう入居したい方を募集していきます。  
何卒よろしく申し上げます。

# 5/28 ワークショップ『味噌づくり』

## 大湫 味噌作り

岐阜高専 武政 里奈

岐阜高専の櫻木研究室では、子どもの学びの場の構築についての研究を行っています。今回、地域への愛着を育むような子どもの学びの場として西森を活用し、5月28日（土）にワークショップを開催しました。

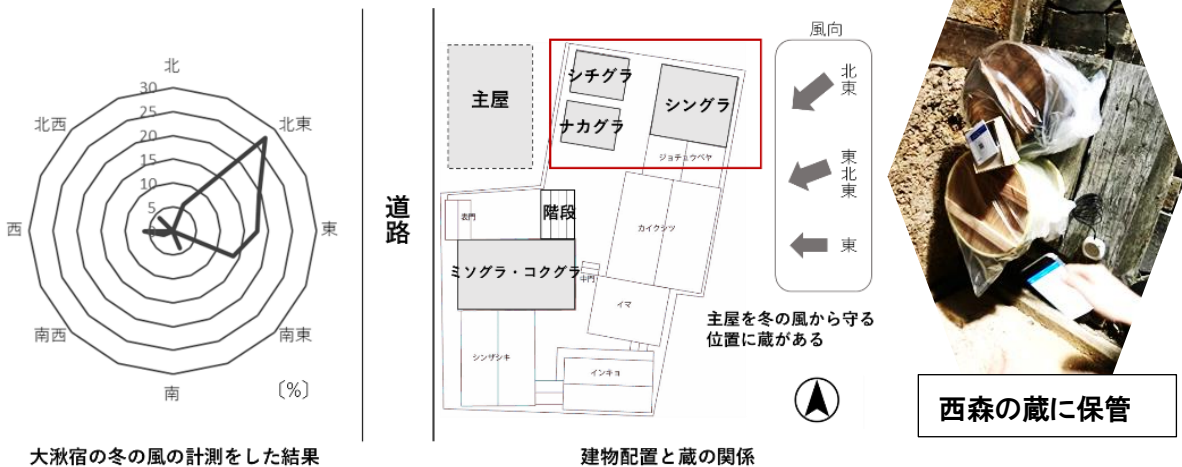
西森は、長年空き家となっており、保存活用が望まれています。西森には、4つの蔵があり、食品や大切なものを保管しておく場所でしたが、現在は冷蔵庫などの普及により使われなくなっていました。しかし、蔵や古い町並みを残すためには、昔の生活の価値を現在の生活に合う形にし、建物を利用し続けながら伝えていく必要があると考えます。

そこで、建物と生活の関係に着目し、建物はなぜこの配置なのか疑問に思い、調査をしました。入手できた全国の民家と味噌蔵の配置に関する資料は10件あり、これら进行分析すると、味噌蔵は主屋から離れた位置にあること、敷地の奥に配置されること、蔵の配置は主屋を冬の風から守る位置に配置されていることが全国的な特徴であることが分かりました。このように、建物の配置には私たちの生活による知恵が隠れていることが分かります。

そこで、西森の建物配置と風の関係に着目し、大湫宿の冬の風の計測を行いました。結果、大湫宿の冬の風は、北東、東北東、東に卓越しており、シングラ、シチグラ、ナカグラが冬の風から主屋を守っていることが分かりました。



岐阜高専から櫻木先生と生徒さん



また、住民の方のお話から、今は購入することが普通ですが、大湫宿では昔、共同で味噌を作っていたこと、味噌を作るために必要な麴を作る共同の作業小屋が宿場内にあり、麴ができるまでまちの人が交代で番をしていたことが分かりました。これは、住民

が共同して生活を維持する相互扶助の精神である結の1つではないかと推測できます。このことから、味噌蔵・穀蔵は、人々のつながりや味噌を作るという生活の在り方のシンボルとして、その価値を捉えられるのではないかと考えます。

味噌作りでの西森の味噌蔵の活用は、食品の学びだけではなく、建物や人のつながりなどを学びながら地域資源を活かすことができ、また、発酵は1日で終わるものではなく、継続的な活動が行えるため、子どもの居場所の構築につなげやすく適していると考えています。

ワークショップ開催にあたり、前日に乾燥した大豆を洗い、水に浸しておきました。当日は朝から4時間ほど大豆をやわらかくなるまで煮ておきました。ワークショップでは、豆をつぶし、麴と塩、豆を混ぜて味噌玉にして、桶に仕込み、西森の蔵へ運びました。

実際に開催をしてみて、子どもの学びの場には、子どもだけではなく親御さんや町の人と一緒に参加をする重要性を感じました。ワークショップを行う中で、子ども対私たちであつたら子ども達も緊張してしまい話しづらかったのではないかと思います。しかし、今回親御さんや町の人がいることで、打ち解けやすかったり、親御さんから私たちに質問をしてもらい話が広がったりと自然と会話が弾みました。子どもの学びの場の構築が主の研究テーマですが、大人の関わり方も重要であり、新しい「結」の形を模索していく必要があると感じました。味噌作りの際は、



「大豆を潰す感触が気持ちいい。」や「思っていたよりも重労働で、昔の人はこれを毎年やっていたと思うとすごいと思う。」など味噌作りを楽しみながらも、昔の人々の知恵や暮らしを感じていました。



昔の大湫宿では、このように町の人々と共同で味噌を作る生活の在り方が、人との関わりにつながり、それが居場所にもなっていたと考えます。現在でも、私たちが大湫宿に研究の調査などで行くと、挨拶をしてくださったり、町の人々の交流が老若男女問わず行われていたりといつも町の温かさを感じます。



作った味噌は、西森の蔵、大湫宿内の倉庫、岐阜高専に保管しており、うまく発酵して食べられるようになるかはお楽しみですが、この大湫宿の町の人々の温かさを生かした子どもの学びの場の構築を今後も味噌作りを通して継続していきたいと思っています。

## 転入対策視察報告

### 5/29 笠置町との交流会を終えて

奥村 準蔵

昨年の 11 月に笠置町の皆さんをお迎えして以来、今度は大湫町から視察をと（コロナ禍の中）三度計画をしてやっと実現しました。

当日のスケジュールを説明いたしますと、2022 年 5 月 29 日 a m9 : 30 に出発、a m9 : 45 着。（意外と早い到着）まず笠置峡のボート・カヌー場でカヌー体験、体験の後は手づくりのゆずジュースを頂く。場所移動して古民家カフェ＋民泊の「日天月天」を見学。次は普通の民家に移住された若夫婦の笠置での暮らしを聞く。場所移動して、振興事務所（町の公民館日曜日でも開館。）で移住定住委員会の活動取組みの説明を受ける。その後に交流会と研修ということで、お互いの現状報告と問題点の共有の場を設けました。

同行の高野教授（名大大学院）の総括をうけ午前の部の終了です。やっとのことで p m12 : 30 過ぎに食事です。（地元笠置のアイボリーという喫茶店）まだ続きがありまして、笠置町河合に移住して古本屋をされている「庭文庫」に案内して頂きました。飾りつけのない古民家の古本屋さんです。以上大変タイト（いやいやごまかしてはいけません窮屈）なスケジュールでしたが、会長の小池さん、笠置町振興事務所の勝野さんの「移住してくださいませか」と言わんばかりの熱心さに感動するとともに、人口 1100 人規模の町で年に 3 件—4 件の移住者があることに納得致しました。

笠置町では基本的に不動産業者を介しての物件であり、大湫町の場合は賃貸も含めて幅広い対応となっていることかと考えられます。移住定住にはつきものの権利の問題がありいつも課題はあることと考えています。ただいずれも強力なお節介と地道な対応で成り立っていると思います。市内においては日吉町、釜戸町にて移住定住の対策がやっと動き出したところです。

大湫町は 2015 年より（空き家対策措置法が 2015 年 5 月に施行）委員長中心に転入対策委員会が発足しています。

高野先生の話によりますと笠置町の場合、年 3 世帯の子育て世代の移住者があれば子どもの数が減らなくなり、将来も持続する町となっていくといわれています。大湫町に置きかえれば年 1 世帯あればということかと考えられます。今一番の田舎のトレンド（流行）としてまた悩ましい課題でもあります。

今回の交流を通して、会長の小池さん、事務局の勝野さんに多くの指導参考意見を頂き感謝するとともに、いつの時代にもそこかしこに子どもの声が聞こえる町でありたいと思います。

## 6/1 「特殊詐欺防止講話」

### 『特殊詐欺』に「注意

まず、話してみる事が被害を防ぐ

ひよも 代表

ニセ電話詐欺の被害を防ぐために！  
覚えてほしい3つの言葉！！

1、「還付金の手続きで A T M に行  
って」

2、「暗証番号を教える」

3、「電子マネーカードを買って番号  
を教える」

5月に、市内でも携帯電話に届いたシ  
ョートメッセージの記載、指示どおり現  
金を振り込んでしまった事は、まだ新し  
い記憶です。怖いくと言っても始まりま  
せん。お金に関する電話があった時は、  
慌てるのは誰しも、でも、五つ数えて少



しだけでも心を落ち着かせ、家族やまわ  
りの人に話してみる。大湫の場合は、コ  
ミュニティへ駆け込む事もいいでしょ  
う。話を聞いてもらえますよ。  
この講話は、多治見警察署生活安全課  
防犯係（釜中卒業生）の方が、怖い話を  
楽しくしてくださいました。  
参加した人は、何度聞いても新鮮、一  
緒に聞ける事が力強いと言って帰られ  
ました。



神田の三浦順三さんから、観音堂の清掃にと、竹ぼうき5本を  
寄付していただきました。ありがとうございました。

## 6/5公民館イベント 『ノルディックウォーキング』

6月5日、日曜日、快晴

ノルディックウォーキング日和となりました。

岩島さんに講師に来ていただき、まずは、運動場でノルディックポールを使って歩く練習をして、大湫散策に出発しました。

### ノルディックウォーキングに参加して

加藤 由美子

以前からノルディックウォーキングに関心があり、ワクワクして参加させて頂きました。

先生の優しい指導のもと、ポールを身長に合わせ、グリップを軽く握り、背筋を伸ばし、顎を引いて視線はやや遠くを見るように、腕は前後にしげんに振る、肩の力を抜いてリラックスして歩くと猫背にならないとの事。



いざ出発になると、手と足の同じ方が出てしまいうまく出来ず、涙が出るほど笑いが止まりませんでした。

公民館から花の森、東屋、天野さんのアトリエを見学させて頂き、2時間30分位で帰ってきました。

他愛もない話をして人と人の触れ合いの中、年を重ねるうちに動作は鈍くなつて来ていると身に染みる思いでした。最後にお休み処でおいしいコーヒーを頂き感謝です。

これからも先生の話を頭において健康に気を付け、ノルディックウォーキングを楽しみたいです。



**ノルディックポールを貸し出ます。**

公民館に10本あります。1週間単位で貸出をします。

使用したい方は、公民館の開館時間に借りに来てください。

天野さんのアトリエを見学しました



## 町民の皆さんとともに

### 取り組んだ消防訓練

6月21日、大湫公民館と丸森邸で

は、消防署から宿谷さん安藤さんに指導に来ていただいて、町民の皆さんとともに消防訓練及び救急救命訓練を受けました。

参加していただいた皆様、ありがとうございます。

訓練の内容は、①通報訓練、②避難訓練、③消火訓練、④救急救命訓練と幅広い内容となりましたが、特に消火訓練・救急救命訓練は、実際に消火器やAEDを使用する訓練となり、緊張とともに充実した体験訓練となりました。



した。  
心肺蘇生法とAEDの使用について少し注意点を列挙してみますと、

- ① 倒れた人を発見したら交通事故等の危険がないか周囲の安全確認
- ② マスク・手袋など感染症対策に配慮し身支度を点検する
- ③ 倒れた人の肩などを軽くたたきながら声をかけ、意識を確認する
- ④ 大きな声で協力者を呼び、支援体制を強化する
- ⑤ 協力者とともに119番通報し、近くにAEDがあれば取り寄せる
- ⑥ 胸及び腹部を観察し呼吸があるかないか確認する
- ⑦ 呼吸がない場合、1分に100〜120回胸部の厚さの3分の1胸骨圧迫を開始
- ⑧ AEDを機器の指示に従ってセットし電気ショックを行う
- ⑨ AEDは装着したまま救急車が到着するまで交代で胸部圧迫を継続、と



## 公民館講座『しそジュース作り』

### 夏バテ予防に！

日時：7月29日（金）  
9：00～15：00  
（さましている間家に帰ります）

場所：大湫公民館 調理室  
受講料：500円＋材料代  
申込：公民館に7月15日（金）までにお申し込み下さい。

申込・お問い合わせ

大湫公民館 ☎63-2360



いった具合ですが、大湫町は消防署から距離があり、救命のためには大切な初動の取り組みとなりますので、ぜひみなさんも機会を捉え体験してみてください。

大湫公民館館長

# 丸森だより

## 6月、7月丸森企画

●丸森常設展示Ⅱ 『大湫宿面高屋=水野家に伝わった軍盃(ぐんぱい)』【5/9～7/31】  
大湫宿のその後、明治以降の人々の生活を伝える、貴重な資料です。

●『竹細工の町並み再現』【6/4～7/3】  
三戸憲和氏(神田区)による竹細工による宿場の町並みの再現模型を展示。

●中山道ボランティアガイド・丸森 共同企画：  
『大湫宿観音堂御開帳』特別案内

7月盆のご開帳に合わせ、中山道ボランティアガイドと共同開催企画として、大湫宿観音堂内のご本尊、三十三観音、天井絵、観音堂の建築物、境内石碑、石仏群を案内します。併せて神明神社の再生大杉も、倒木被災から再生大杉完成までの経緯を含め紹介します。7/13(水)～16(土)。13:00～



## 6月 大湫宿の行事・出来事・丸森と来宿者の様子

- \*8日 瑞浪市中学 美術担当教諭研修来宿
- \*18日 中山道ボランティアガイド 大湫宿ガイド研修
- \*21日 公民館・丸森合同防災訓練
- \*22日 夏祭り実行委員会

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
217	-	81	2	300	0
R4,4月～	1,382	オープンから	42,007	R1 同月比	77.2%

- ◆「まん延防止等重点措置」が解除され、「Go-Toトラベル」、「県民割」や「ブロック割」など、各種の旅行支援政策や、宿泊割引などの対コロナの観光事業支援制度が延長・新設されました。大湫宿来訪者も急増か…。と思いきや、それ程の増加は感じられません。未だ様子見の状況なのか。あるいは、観光割引支援策が実感し難い、もともと“観光業がない観光地”大湫宿では、それらの恩恵は薄いのか。海外のお客様の入国、ツアー客の再開も勧められることは決定されましたが、未だに本格化されていません。今後に期待したいと思います。
- ◆新生となった大杉目当ての来宿者は多い。一様に強いインパクトをうけ、視覚的にもわかり易い。新たな観光資源になりつつあります。“大杉は倒れても大杉”。大湫宿の表看板。車で来られて見物。ついでに宿内の散歩。「初めて来たけど、知らなかったわ。こんな近くに、こんないい所があったんや。」これまでの“中山道歩きの中継点となっていた生活食料品店”や“五平餅のお休み処”“クテの市”に加え、近年オープンした数少ない飲食関係、レジャー関係の施設から回ってくるお客様も少なくありません。大湫宿も少しずつ動き出しています。
- ◆NHK-BSで放映した「巨樹百景 神様の木に会う—大湫神明神社の大杉」のDVD。倒木以来の経緯と『大杉に再び注連縄を掛けたい』という住民の思い…。丸森で見られます。職員にお尋ねください。
- ◆ただいま丸森では大杉部材活用の一環として、岐阜、静岡の「円空仏木彫同好会」の皆さんの手による大杉のストラップ、キーホルダー等を頒布しております。「フクロウ」「大黒様」「お地蔵様」などいろいろあります。集まった資金は、【瑞浪市指定無形民俗文化財『大湫神明白山神社例祭 山車行事』復興事業】に寄付されます。

# せらしお 〇〇 7月の集まろう会

R4

大湫町ミニニテ推進協議会  
集まろう会

☆太鼓は〇〇 7月2日(土)と、7月16日(土) 9:30~です。  
7月2日は、七夕さまに向けて、かざりを、つくります。  
この時、「大杉」の練習を、します(希望者)、後、みんなが  
飾りましょう。

☆さつま芋は〇〇 6月4日に苗を植えました。今年の苗は、ヒョコ  
して、とても元気な苗でしたので、今もスクスク育っています。  
秋に掘った芋は、みんなの分と、「くこの市」に出荷して、収益金は、  
大杉再生事業の資金として、活用してもらう予定です。



おいしいお芋ができると  
いいな。



6/4集まろう会のさつま芋の苗植え



教わりながら子供  
達も一生懸命植  
えました。



期間：6月20日(月)～8月19日(金) 土・日曜日・祝日は休館します。



どんぐり等を使った、十二支も  
あります。



石を見て、何にみえるかな？

とってもかわいい絵が描かれています。

キリン、ゾウ、ネコ、ペンギンなどいっぱいです。見  
に来てください。

## 楽しくピンポンやりませんか！

大湫公民館には、大湫小学校から引き継いだ卓球台と公民館備品として所有している卓球台が2台あり、倉庫で休眠していました。

限りあるスペースの大湫公民館では、運動施設として活用できる種目も限られています。卓球なら2台置いても十分な広さを確保できます。また最小競技人数が、2人で始められるのも人口の少ない大湫に適したスポーツではないかと思えます。

昭和の時代には、旧大湫公民館の講堂で、盛んに卓球が行われ、多くの市民大会の選手を輩出していましたし、去る令和4年5月31日に開催された瑞浪市民体育大会では、釜・大チームが優勝し、市内総合3位の成績に貢献しました。

卓球は、オリンピックから温泉ピンポンまで、幅広い楽しみ方がありますが、当面は大湫町民の皆様に親しんでいただける軽スポーツとして普及に努めて参りたいと思えます。

仲間との楽しい親睦のため、ピンポン初めてみませんか！

大湫公民館

### 7月からの卓球教室

毎週火曜日 午後7時～9時

※ 球やラケットなど道具は全てそろっています。

※ 上履きの有る人は持参してください。



# 神田にひまわり&大豆を 植えています!!

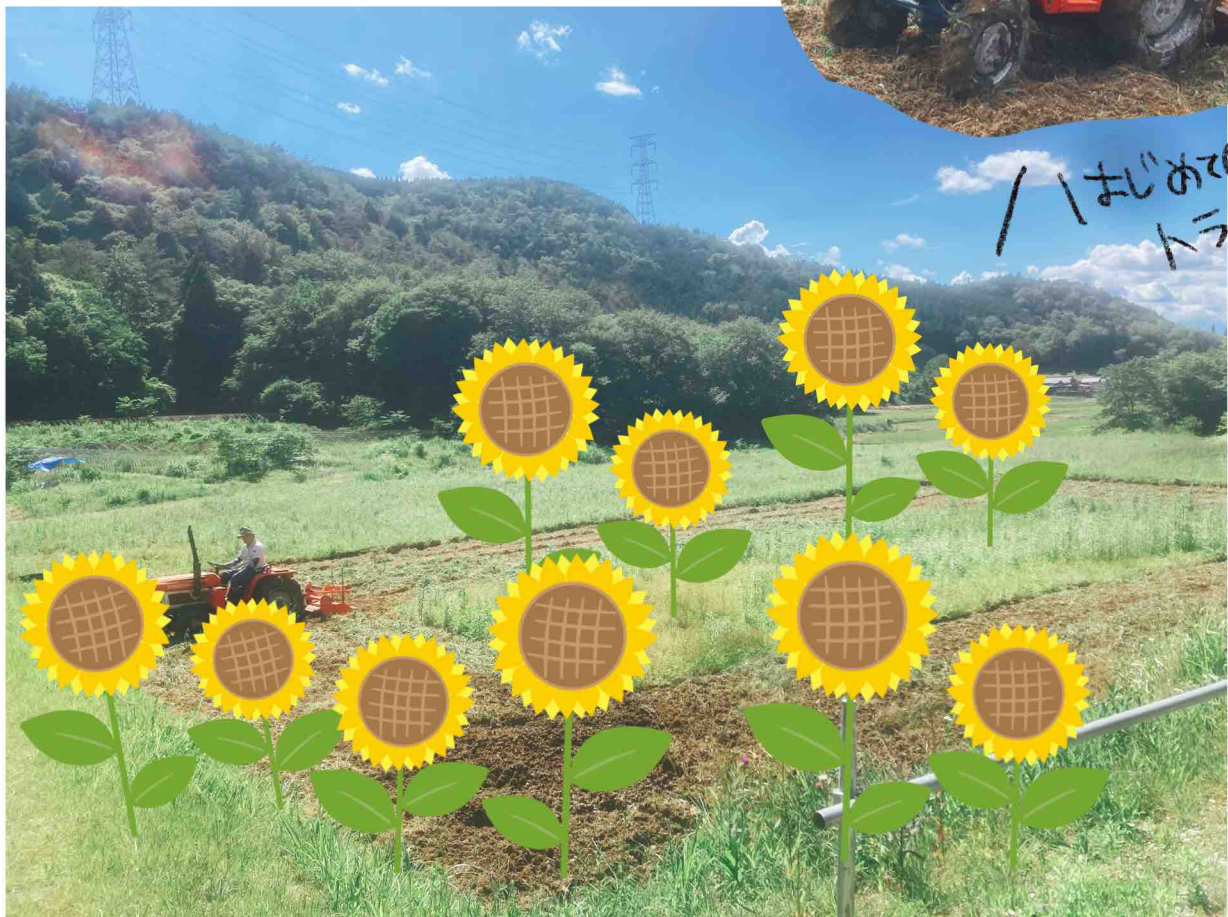
こんにちは！サステナの園原です。

6月から、区長会長の加藤さんの土地を使わせていただき、畑を始めました。教えてもらいながら、トラクターにも初めて乗りました！

総合計画作り～大杉再生工事と約3年大湫町に通って  
皆さんにお世話になり、何か自分も大湫町でやってみたいなと思いました。







ひまわりが咲いたら、ぜひ見に来て下さい！  
咲いた後は、ひまわり油を搾ってみたいと思っています。  
大豆はきな粉にして、年末にきなこ餅を食べたいです。

週に何日か、作業や草刈りをしています。  
こんなに広い場所で畑をやるのは初めてで、  
全然育たないかもしれません。  
ぜひ、あたたかーく見守っていただけると  
幸いです。よろしくお願いします。



1/1はじめの  
トラクター

# 大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより  《7月のひよもの活動》  『防災講話』  日時：7月7日(木) 10:00~11:00頃  場所：大湫公民館 講堂</p>
	<p>大湫宿お休み処  7月の営業日  3日・10日・17日・24日(日曜日)  18日(祝・月曜日)  ※当日(お急ぎ)の予約は、丸森(☎0572-63-2455)へお願いします。</p>
	<p>ご招待券あります 1枚(2名様まで)  (公民館にあります。利用される方は取りに来て下さい。)  企画展『浮世絵 DESIGN』  日時：6月23日(木)~7月24日(日)  場所：中仙道広重美術館</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本  『歴史というもの』 井上靖:著  中央公論新社:刊  井上靖・司馬遼太郎・松本清張の三氏による歴史対談集。  平和になってくると、武士の仕事は簡単になり俸禄をもらいます。かわりに忠義が強くなるそうです。  5月の大湫分室 貸出人数：14人 貸出冊数：50冊</p>
	<p>デマンド交通  5月利用者(大湫~日吉東部)  26便 延べ34名(稼働率22.8%)</p> <div data-bbox="997 1538 1412 1668" style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん  利用して下さい。</p> </div>
	<p>青色回転灯防犯パトロール  7月のパトロール予定者  上旬：渡邊 弘一：奥村 研  下旬：加藤 博一：桐井 繁</p>



**8月13日(土)**

- 花火(20:30~)
- 五平餅・みたらし団子(お休み処)
- 鮎の塩焼き(鮎の会)
- ゲーム(公民館・子供会)
- 盆踊り(練習はありません)
- アートマスクコンテスト(マスクに絵を描いてきてもらい賞を決めます)

6/22の夏祭り実行委員会で、十分なコロナ対策をして、夏祭りを行い、上記の出し物をする事に決まりましたが、7月中旬に新たに決定したチラシの配布をします。

こんなことしたらどうかという要望, 案がありましたらお知らせください。よろしくお願いいたします。

## 区長日記

六月になってもコロナは収まることなく、より身近な存在となって来ています。皆さんは今まで以上の感染防止対策を実施し予防に努めて下さい。

夏季町内奉仕作業につきましては、道路脇の草等がきれいに刈られ車での通行が楽になりました。暑い中での作業本当にご苦労様でした。

神明神社の復興に関しては、境内の鳥居が六月十一日に修復が完了して元の位置に設置されました。又、池の周りの安全柵についても工事が完了いたしました。

神社総代より神社復興の為の寄付依頼を町民の皆様にお願ひしていますが、ご協力よろしくお願ひ致します。

梅雨時の大雨による災害・被害防止の為、早めの避難を心掛けて下さい。

夏祭り実行委員会が開催され、今年は三年ぶりに夏祭りを実施（八月十三日）します。規模を縮小して行いますが夏の一夜を楽しみましょう。

加藤

6月1日 ひよも（特殊詐欺防止講話）

3日 定例区長会幹事会

7日 社協大湫支部役員会

15日 青少年育成町民会議

16日 市長と語る会

17日 釜戸小学校（釜戸）授業（5・6年）

瑞浪高校地域連携プロジェクト打合せ

20日 ゴルフの町みずなみ実行委員会

22日 土木改善要望事項現地立ち合い

夏祭り実行委員会

30日 第二回連合自治会

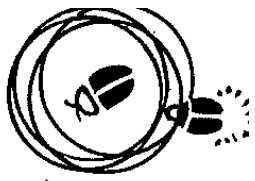




<b>7/2 お休み処で 100円コーヒー出します。</b> <b>9時～12時</b>	三	三	二	二	二	二	二	一	一	一	十	七	五	四	二	一	日	<b>令和四年七月行事予定</b>  予 定			
	日	土	金	木	月	日	土	金	木	水	火	日	木	火	土	金	曜				
	大杉音元	釜戸夏まつり	広報委員会	公民館講座「親子リトミック」	財産区選挙会	財産区投票日	モニタリング調査	西森川邸オープニングセレモニー	小・中学校終業式	公民館講座「手作りパン教室」	集まろう会大湫太鼓	子供会インリダー会	公民館講座「親子リトミック」	参議院選挙	リ・アップひよも 『防災講話』	民生委員会議	公民館講座「手作りパン教室」		財産区全員会議	集まろう会大湫太鼓	定例区長・幹事会
	不燃ごみ:7/5(火) :資源ごみ:7/22(金)																				

毎週火曜日 午後7時から卓球教室あります。

**7月1日から、公民館でゴミ袋の交換が始まります。**  
 使っていない旧ゴミ袋1枚でも、差額分を払えば新ゴミ袋と交換します。  
 黄色いゴミ袋は使えません。



編集後記  
 大湫の神田鴻ノ巣のホタル。数はそれほど多くはありませんが、上へ下へ、右へ左へやさしい光を出して幻想的です。  
 とてもきれいでゆったりとした気持ちになり、時間を忘れいつまでも見ていられる気がします。いつまでもホタルが見られる大湫でいてほしいです。  
 〃

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
 令和4年 7月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360  
<http://okute-shuku.jp>